

組織 会長 榎原若樹 (横手明峰中学校)
副会長 後藤拓哉 (横手北中学校)
金沢資子 (増田中学校)
事務局 高橋真理子 (横手南中学校)
研究部 柴田緩子 (平鹿中学校)



夏季研修会

主な事業

横手市造形研究会夏季研修会
(県立近代美術館 / 8月21日)

「つくって遊ぼう」にブース設置
(横手市浅舞公民館 / 11月3日)

横手市児童生徒美術展・地区審査
(横手駅前交流センターY2プラザ
/ 11月22日～25日)

研究会の記録

○横手市造形研究会夏季研修会 (8月21日 秋田県立近代美術館)

東北福祉大学・臨床美術士 古瀬先生を講師にお招きし「臨床美術」体験に取り組んだ。アートがもつ力を生活や健康に活かそうという活動であり、我々自身が色・形と戯れ、そして色・形を通じてコミュニケーションを楽しむ和やかな時間となった。授業の中に取り入れられる要素もたくさんあり、充実した研修会となった。

○つくって遊ぼう (11月3日 浅舞公民館)

横手市子ども会育成連合会と連携し毎年行っている、小学生を対象にした「つくって遊ぼう」に今年もブースを設けた。平鹿中学校美術部の生徒3名がボランティアとして参加し、小学生の活動をサポートした。100名を越す親子の参加があり、大盛況であった。



つくって遊ぼう

○第45回横手市児童生徒美術展 (11/22～25 横手駅前交流センターY2プラザ)

県の児童生徒美術展の開催要項の変更に伴い、横手市の美術展の在り方についても役員会を設けて話し合いを行い、各校の出品数や、市からの賞状をどうするかについて再検討した。変更点は幾つかあったものの特に大きな影響はなく、例年通りの充実した美術展となった。同じ題材でも、それぞれの児童生徒の思いや工夫によって、まったく違った味わいのある作品になっており、一人ひとりが自分自身と向き合っ製作活動に取り組んでいることが伝わってきた。